

# キラっと☆スマイル 八戸ナビ

～No.10 ワコールガーデン八戸店 店長 伊藤 恵利子 さん～

## ★ 現在のお仕事について

大手下着メーカー「ワコール」製品の専門店で、店長を務めています。平成 28 年に全国で7店舗目として開店し、現在5年目に入りました。接客や商品の販売、在庫管理、発注などすべての業務を一人で行っています。

前職は市内ビジネスホテルの支配人でしたが、知人から新規出店者を探していると声を掛けられたこと、元々起業してみたいという気持ちがあったことから、店舗の立ち上げを決意しました。また、20代の頃に下着専門店での店長の経験もあり、経験したことのない業種ではなかったことも理由の一つです。



ワコールガーデン八戸店  
店長

いとう 恵利子 さん

## ★ 開業時に大変だったこと

まず、出店場所選びが大変でした。市の中心街は、飲食店は多いですが物販が少なく、通りが1本違うだけでも印象が変わります。また、お店の特性上、通行量の多い表通りであれば良いというわけにはいかないため、現在の十六日町の場所を選びましたが、賭けでもありました。

また、開店当初はお客様の認知度がどうしても低いため、今日のお客様が、またご来店いただけるように接客していました。まだまだではありますが、少しずつお客様が増えているのはありがたいことです。

## ★ お仕事で心掛けていること

お客様のパーソナルな部分に触れるため、洋服屋よりはお客様と近い関係になります。そのため、緊張をほぐす言葉かけは忘れません。また、お客様が望んでいるデザインや機能性の商品を提供できるよう、お客様とのコミュニケーションを大事にしています。

それから、下着を通じてお客様の生き方や考え方に触れるようになり、時にはお客様から仕事の悩みなどの相談を受けることもあります。ご縁なので良い方向に向かうよう手助けができればと考えており、困っている内容が分からなければ、自分でも勉強したり、知人に聞いたりすることもあります。今はインターネットでも物が買える時代だからこそ、こういった人とのつながりを大切にしたいですし、これは路面店ならではの感覚を感じています。



## お仕事のやりがいについて

お客様から「悩んでいないでもっと早く来れば良かった」と言われた時、そのお客様にお会いできて良かったと思いますし、「また来ます」と言われた時も、ただ物を売った時とはまた違う思いがあります。また、商品を発注する時、「あのお客様はこれが好きそう」とお客様の想像をしながら仕入れるのが楽しいです。お客様の顔が増えるのはうれしいですし、今後も大事にしたいと思います。



## ご家族について

関西に住む大学生の娘がいます。開業当時、高校生だった娘からは「お母さんが選ぶことだから好きなことをして良いよ」と声を掛けてもらいました。進学してから連絡を取ることは減りましたが、誕生日や母の日には手紙付きのプレゼントを送ってくれます。「体に気を付けてね」という言葉から、大人になったなと感じています。



## 今後の目標

「かかりつけの下着屋」のような存在になりたいと思っています。お客様の体型をどう維持するか、目標に持ってくるか、お客様の1、2年先、5年後を想像しながら商品を選んでおり、お客様とは長いお付き合いになります。実際に、良さを実感して、子どもに使わせたいと三世代でいらっしゃるお客様もいます。

また、体に合う下着を着用すると、自信がつき、外見上にも表れていくものです。この仕事を通じて、女性がポジティブに、自信を持って働くきっかけになればうれしいです。

